

2011/2/1

公共調達適正化研究会

【参考資料】

地質リスクを意識した発注のお願い

内容

1. 地質調査業務の重要性について
2. 地質リスクマネジメントのイメージ図
3. 地質リスクの事例－建設現場の利益阻害リスク
4. 地質リスクの事例－新北九州空港最終地盤断面図
5. 平成22年度上半期の地質調査/土木設計各業務の発注実績
6. 地質調査業務の適用領域拡大

平成23年2月1日

社団法人 全国地質調査業協会連合会

①

2011/2/1

地質調査業務の重要性について

① 地質リスクの理解拡大のお願い

- ・事業の初期段階から地質リスクを予測して対応することが重要

② 地質調査業務適用領域の拡大

- ・地質調査業務の重要性を認識し、プロポーザルや総合評価での発注割合を増やしていただきたい

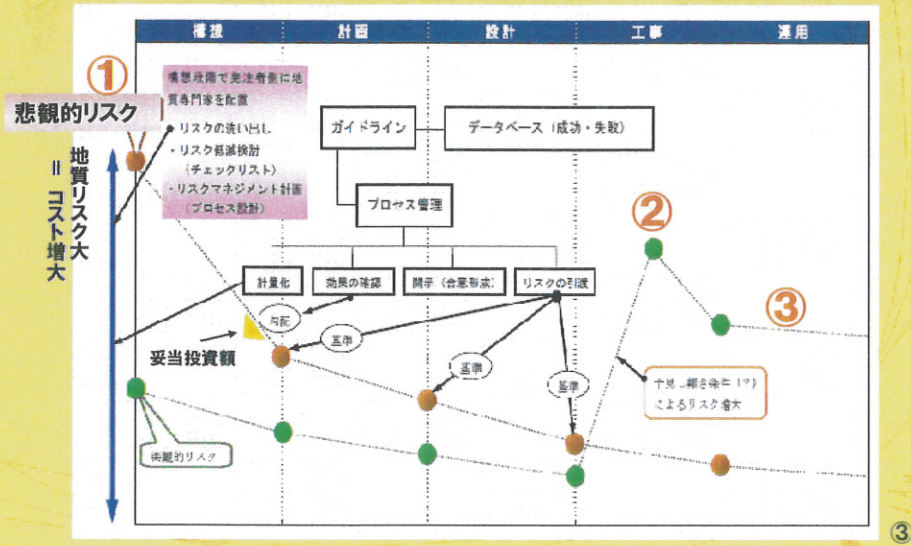
- ・水文調査検討や地質解析など、地質リスクと密接に関係した業務については地質調査業界への発注をお願いしたい

- ・地質調査業務の中立性と独立性を確保するために「地質調査業務」と「土木設計業務」の分離発注の推進をお願いしたい

②

2011/2/1

地質リスクマネジメントのイメージ図

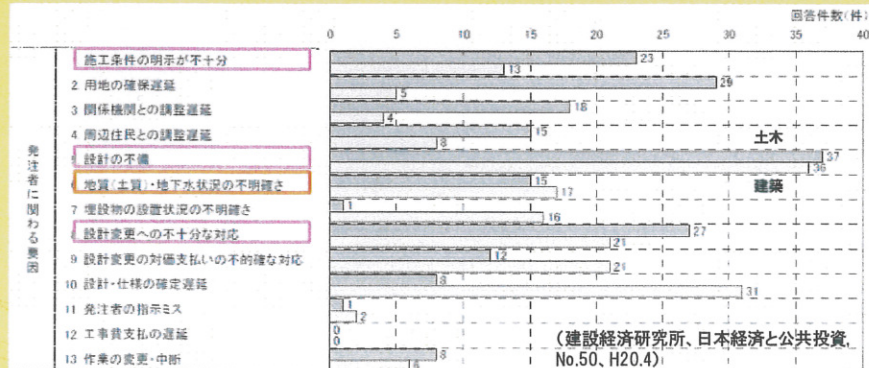


地質リスクの事例－建設現場の利益阻害リスク

●建設現場での工期延期やコスト増など利益阻害要因に対するアンケート結果(建設経済研)

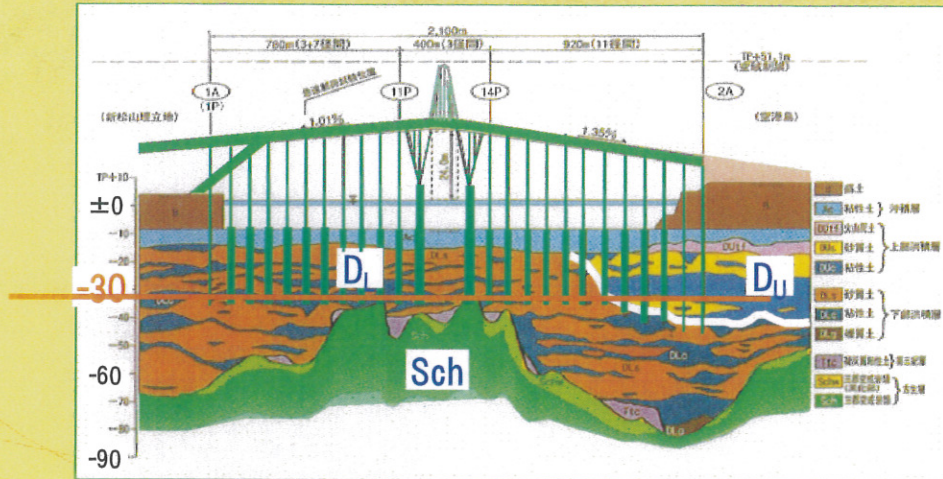
●発注者に関する要因(下図)が上位を占め、その中でも地質リスクに直接関するもの(No.6)、間接的に関するもの(No.1,5,8)が大きく影響している。

*巻末に新北九州空港での工事費低減例を示したので参照されたい



2011/2/1

地質リスクの事例 — 新北九州空港最終地盤断面図



5

2011/2/1

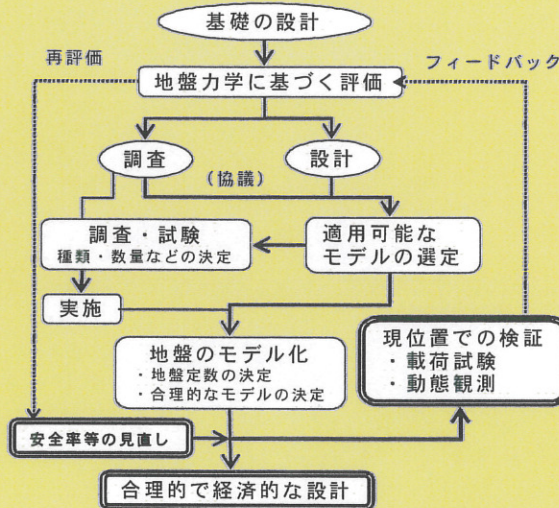
付表 きちんと調査した場合の費用の比較
(新北九州空港での事例)

項目	岩盤に支持	洪積層に支持	
		N値法	c', φ'法
ボーリング	1億8,800 【2,898m】	1億8,800 【2,898m】	1億4,000 【2,217m】
サンプル・室内試験	0	0	6,800
孔内水平	1,150	1,150	1,150
小計	2億	2億	2億2,000
杭の載荷試験	0	0	1億8,800
調査費計	2億	2億	4億
施工費	280億	212億	174億
合計	282億	214億	178億
コスト効果	+104億	+36億	0

6

2011/2/1

付図 新北九州空港で実施したこと



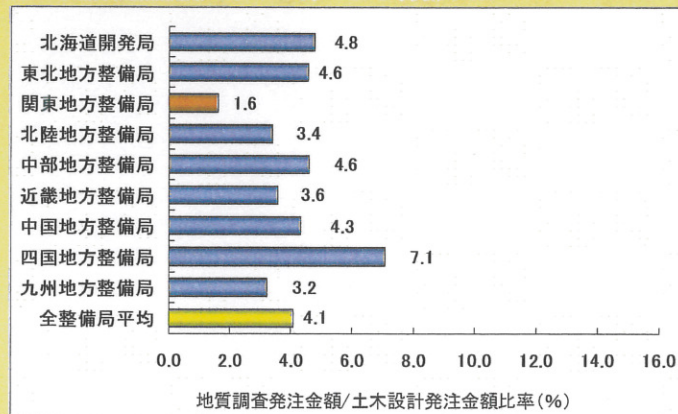
⑦

2011/2/1

平成22年度上半期の地質調査/土木設計各業務の発注実績

- ・分離発注が徹底されず建コン業務に含まれて発注されている
- ・地質調査業務として発注されるべき業務も建コンや測量として発注されている

*以前は下記発注金額比は10%~20%あった



⑧

2011/2/1

地質調査業務の適用領域拡大

- 付図-1は昨年度の勉強会で本省にお願いした地質調査業務の発注区分（プロポーザル、総合評価、価格競争）ですが、実態としてはまだまだ、価格競争で発注されることが多いので、是非プロポーザルないし総合評価での発注をお願いしたい
- また、同図に地質調査業務を考えられる工種を示していますので、地質調査業務として業種区分する際に参考にしてください
- 更に、地質調査業務の中立性と独立性を担保するために「地質調査業務」と「土木設計業務」の分離発注の徹底をお願いしたい
- 毎年提出する地質調査業現況報告書（有資格者常駐との条件あり）を有効活用していただき、地質・地盤の専門家集団である地質調査業登録業者への発注をお願いしたい

9

2011/2/1

付図-1 標準的な業務内容に応じた発注方式例（地質調査）

